

篠井富屋連峰山行報告

【山行日】2022年 1月 23日(日) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園P AM 6:30
【費 用】マイカー2台 : 1000円
【メンバー】CL:鈴木、SL大西、 大塚、嶋田、
島田、関、福島、藤原ト

【コースタイム】栃木市運動公園P6:30=こどもの森公園 P7:45/8:05 ~ 展望台 8:30 ~ 榛名山 8:50/9:00~男山 9:20~本山 9:50/10:00~飯盛山 10:50/11:00~高館山 11:50/12:25~黒戸山 12:55 ~ 林道出合 P13:10/13:30 = ロマンチック村 13:45/14:00=栃木市運動公園P15:00



本日も三浦アルプス山行の予定だったが、長時間の車移動はコロナ感染リスクが高いため、県内の篠井富屋連峰に変更となった。キャンセルがあり8名参加となったので、我輩と SL の車の2台に分乗し下山口の駐車場に向かった。林道出合の駐車スペースに車1台をデポし、我輩の車に全員が乗ってこどもの森公園に向かう。こどもの森公園入口の駐車場に車を止め、出発の準備を整えたらすぐ上のトイレ前に移動しストレッチを行い出発する。今回も冒険センターの敷地内を通り、展望台から榛名山へ向かう。センターハウス南側のわんぱく広場を通り、ロッジA棟とロッジB棟の間を登って行く。園内マップを見ると冒険の吊り橋から勇気の洞窟を通って行けるので、吊り橋と洞窟を抜けたが道が分からない。仕方が無く吊橋まで戻り、ハイキングコースの案内に従って展望台まで登った。展望台から日光連山の眺望を楽しみながら、衣服調整と水分補給を行う。ここから榛名山へは急登になり、落ち葉で滑りやすい道を登って行く。岩交じりの急坂を登り切ると尾根に出て、そのまま平坦な尾根を進むと榛名山山頂に着く。山頂標識の前で写真を撮り、小休止したら男山へ向かう。尾根を少し戻り案内標識に従って左に下り、鞍部から登り返して岩尾根を左に進むと男山山頂に着く。山頂からは雪化粧した高原山が見え、景色を楽しみながら足を休める。ここから少し戻りそのまま直進して急降下し、鞍部から登り返すと篠井富屋連峰の最高峰本山に着く。山頂には三等三角点が置かれ、360度の大展望が得られる。



皆さん日光連山や高原山の展望に大感激で、ミカンや菓子などをいただきながら大展望を楽しんで



いた。記念写真を撮ったら次の飯盛山へと向かう。分岐まで少し戻り標識に従って南に向かい、岩場の急降下を慎重に降りて行く。下り切った平坦地に標識が立ち、右に行くと下篠井へ向かい飯盛山へは左に進む。杉林の道を5分程進むと鉄塔の下に出て、鉄塔のわきの急坂を登り切ると飯盛山山頂に出る。山頂は平坦で広く石祠が置かれ、小休止してゼリーや菓子をいただく。飯盛山からの下りは本日一番の急降下で、落ち葉で滑りやすい急坂を、ロープや立ち木に掴まりながら慎重に下って行く。下り切ってから小ピークを過ぎると林道に出て、左に進んだヘアピンカーブから右のスギ林の道に入る。平坦な道を進むと直ぐに青嵐峠の十字路になり、そのまま直進して緩やかに登って行く。山腹を巻くように緩やかに登り、高館山の標識に従って左に登ると広く平坦な高館山山頂に着く。山頂でランチタイムとし、お湯を沸かしてスープやカップ麺を作りおにぎりをいただく。しもつかれや出汁巻き卵、うずらの卵や唐揚げなどが並び、超豪華なランチをいただいた。風も無く穏やかな冬晴れに恵まれ、のんびりとランチを楽しむことが出来た。

山頂から分岐点まで下り、左折して最後の黒戸山へ向かう。ヒノキの薄暗い植林地を行くと十字路に出て直進し、明るい尾根を進むと杉林の道になる。まもなく道標に従って右に折れ、少し登ると T



字路の尾根に出てすぐ左に黒戸山山頂がある。およそ山頂らしからぬピークで、山頂標識が無ければ見落としてしまいそう。山頂標識の前で記念写真を撮り、ここからは我輩と福島さんが先行して下りデポした車で車回収に向かう。

山頂からゆるやかに下ると林道に出て、そのまま直進すると舗装された林道に出る。舗装道を左に進むと駐車場所に着き、車に乗ってこどもの森公園へ向かう。公園で車を回収して駐車場所に戻り、皆さんが靴を履き替えて車に乗りロマンチック村に向かう。ロマンチック村でトイレを済ませ、道の駅で買い物をしたら帰路につく。三浦アルプスに登れなかったが、宇都宮アルプスと呼ばれる篠井富屋連峰も素晴らしく、ロングトレイルを縦走し皆さん大満足の山行となった。



まかせ、道の駅で買い物をしたら帰路につく。三浦アルプスに登れなかったが、宇都宮アルプスと呼ばれる篠井富屋連峰も素晴らしく、ロングトレイルを縦走し皆さん大満足の山行となった。